

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社BunBuKids

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から子ども達の間でお笑いの真似や言葉遊びが流行しており、人前で表現することへの関心の高さが見られました。そこで園ならではの温かい雰囲気の中で、楽しみながら表現力や協調性を育てたいと考え「笑育」をテーマに設定しました。また、発表の機会が増える就学前に自信を育てたいという思いも込めました。

2. 活動スケジュール

初回は松竹芸能の芸人による自己紹介とお笑いの基本指導を受けました。その後、モノボケやツッコミの練習を行い、保育士と一緒にコンビやトリオを結成しました。数回の練習日を設けて構成を考え、リハーサルを経て発表会当日に披露する流れで進めました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子ども達が本番を意識できるよう、簡易マイクや舞台スペースを用意しました。モノボケ用の小道具や衣装も準備し、自由に選べる環境を整えました。また、安心して意見を出せるよう円形に座る場を作りなど、保育士が間に入りながら話し合いがしやすい雰囲気を大切にしました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

芸人から自己紹介の工夫や間の取り方、ツッコミの言い方などを学びました。その後、子ども達同士で役割を決め、保育士と相談しながらネタ作りを進めました。繰り返し練習する中で表現を工夫し、自分達らしい漫才を完成させ、発表会で堂々と披露しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「もっと大きな声で言ってみようか」「ここでツッコむ？」と友達同士で意見を出し合う姿が見られました。緊張する子には保育士がそっと寄り添い励ますことで、安心して挑戦する様子もありました。成功すると皆で笑い合い、達成感を共有していました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

当日の様子をSNS・園の連絡・お迎え時などに保護者様にも共有いただきました。子ども達は安心できる環境があることで、自分の思いを積極的に表現できることを改めて実感しました。失敗を恐れず挑戦する姿や、友達を思いやりながら話を聞く態度も育っていました。笑いを通して自己肯定感や協調性が深まる貴重な機会となりました。